

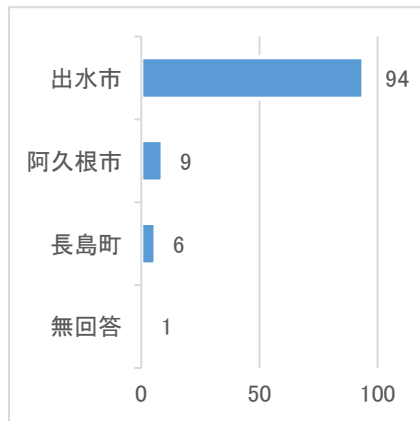
2025 年度 多職種交流研修会(出水市会場) アンケート結果

2025 年 8 月 28 日 (木) 場所：出水市役所 4 階大ホール

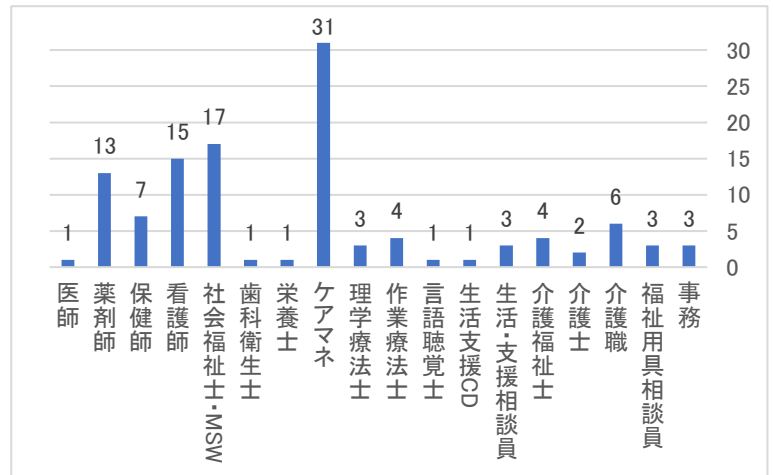
参加者：115 名

アンケート回収 109 枚 回収率 94.9%

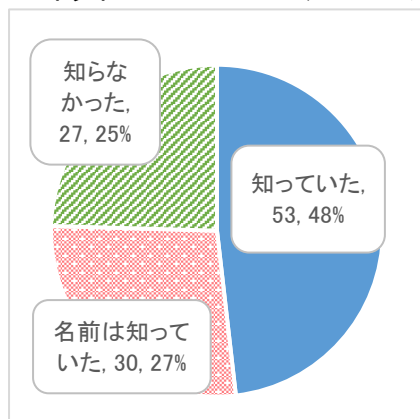
1. 勤務地



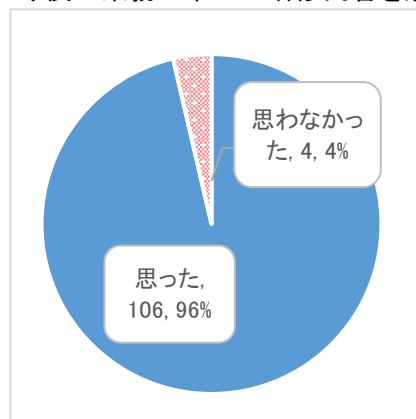
2. 職種(参加者全員分)



3. マイライフノートについて知っていたか



4. 今後の業務に本日の研修内容を活かそうと思ったか



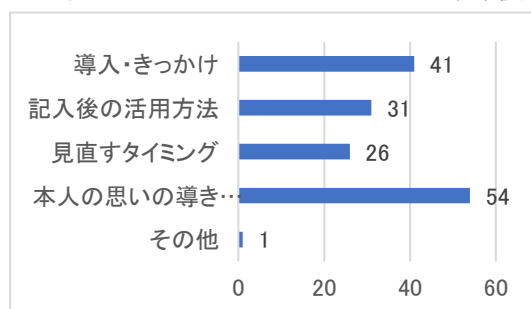
5. 研修やフリートークの中で、感じたことや印象に残ったこと

- ・多職種でそれぞれの立場からマイライフノートの活用方法を話し合うことができた。ピースを聞き出す声かけが難しいと共通意見があった。
- ・なかなか話をする機会がない方達と交流できた。
- ・元気なうちから自分の好きなこと、大事なこと、考えること、できれば書きとめることが大事。
- ・とても良い時間でした。
- ・ACP は元気な時から話、積み重ねていくことが大切だと改めて感じた。(話す人、タイミングが大切)
- ・ピースメモを実際を書くことで、「自分」というものを客観的に見ることができとても良かったでした。出水市民の皆さんにマイライフノートを書いてもらう機会があるととても良い人生を送れると思いました。ありがとうございました。
- ・利用者さんとの会話の中でピースを拾いたい。・身近な人と大事な話をする。
- ・グループワークだけでなく、他のグループの考えなども聞きたかったです。
- ・少しずつでも今日の考え方を持って仕事をして行こうと思いました。
- ・色んな職種の方の視点からの考えが聞けて良かった。立場で聞けるタイミングも全然違うなど。元気なうちに少しずつ取り組んでもらえればベストだなーと思いました。
- ・他の方の話を聞いて共感できる事が多く、自分自身に対しての気付きもあり改めて色々と考えさせられる時間になった。
- ・色々な職種・年齢・性別の方からの話が聞けて良かった。私は私のことをよく知れていないんだなと感じた。

- ・とても楽しくマイライフノートの考え方について詳しく知れて良かったです。
- ・ご自身の職業からのお話が聞けて大変参考になりました。
- ・グループワークのメンバーの方の話を聞いて、自分のことを話することで色んな考え方と持つことができ、自分を知るいいきっかけにもなりました。たくさんの方にマイライフノートについて知ってもらいたいし、子供達にも教えたいと思いました。
- ・マイライフノートについて形式ばって聞いたりすることなく対談していた。何気なくその人から出る言葉がその人の本心であったりすることを、肝に銘じて注意深く話をして行こうと思った。
- ・ACP として取り組むというより、意識して取り組んだことが結果として ACP につながるのかなと思いました。
- ・実際に利用者様、患者様に活用した方が、様々なことを知るきっかけになるため、もっと調べて知っていきたいと思いました。
- ・書きとめることによって改めて気付くことができた。
- ・ACP に書き出すことで改めて自分を見つめ直すことができました。
- ・高齢者様と話す時、マイライフノートがあること、その内容を話していきたい。
- ・訪問の患者とのやり取りの中で、ピースを拾い集め多職種と共有し、より良い医療につなげていきたい。
- ・当事者になってみないと分からないことがあるなと感じました。
- ・多職種それぞれの話が聞けて勉強になりました。
- ・家族や妻と共有していこうと思いました。
- ・どの世代でも考えることは必要なことと感じました。学校教育でもしていければ、考える機会になって良いという意見があり、その通りと思いました。
- ・マイライフノートは自分や家族のために人生計画をゆっくり考え、立てる。
- ・家族との会話で“話題” にしたいと思いました。
- ・体験談などまだまだ自分には先のことに思っていたことを身近なものに感じた。
- ・死について考える事は生きる事だと思った。
- ・命に危険があっても家に帰りたいという患者様。叶えてあげるともやりたいことだと思った。
- ・年代によって書く内容が変化する。
- ・なかなか意見交換をすることもない内容であり、事前にどうしたいのかいざとなると考えられない。
- ・自分の親にもノートを書いてもらおうと強く思いました。
- ・動画がとてもイメージを持ちやすかった。マイライフノートを出す(書いてもらう)タイミングがなかなか難しい。あるこけん塾では具合が悪くなるという人もいます。
- ・様々な人の意見を聞くことができて面白かった。
- ・元気なうち病気になってからと思いは変わる。その時その時で変わるので下記替える要がある。
- ・自分のことを話すとき恥ずかしいと最初は思っていたが、このように話して聞いて・・・というのが ACP だと岩下さんに言われ、このようにフリートークのような時間を設けてみたい。
- ・ご利用者の何気ない一言を大事に、ケアチーム皆でピースを集めていきたいと思いました。
- ・自分のことをゆっくり考えることがなかったのが良かった。
- ・楽しかったです。自分のことですが意外と知らない(分かっていない)事が多いと思いました。
- ・面談の中で少しずつ聞き取れるよう関わっていきたくと思いました。
- ・気付くことを大切にする。多職種の人とのコミュニケーションが取れた。
- ・初めて書いてみたが難しかった。
- ・日常の会話の大事さが良く分かりました。パートナーと向き合うようにしようと。相手のことを知る機会をつくるようにしようと思いました。
- ・他の専門職の意見や体験談を聞くことがきて、皆さんが死の準備に対してどう思っているのか聞けてすごく参考になりました。
- ・他の方の話を聞くことによって色々な考えが知れました。
- ・自分のやりたいことについて、またどう生きたいかを考える良い機会になりました。患者さんのピースメモを集めることができれば、もっと寄り添えるのではないかなとも思いました。
- ・マイライフノートを各家庭の中で話をしながら書いてみようということが、少しずつ浸透していけるといいなと思います。
- ・普段考えないことを考える機会になった。
- ・自身のことを書くのが難しいと感じた。
- ・同意見や違う意見、色々な見方ができた。第一印象とは違う面も見れ、連携を取りやすい感じがした。
- ・年齢や健康段階によっても異なると感じました。
- ・他職種の方の関わり方が勉強になりました。
- ・色々な職種、事業者、年代の方と自由に話することができて良かったと思います。
- ・自分を知る(まずは)という事は簡単そうで意外と難しかった。ピースメモ、なかなか書けない。
- ・人との出会いに感謝して生きたいと思いました。なかなか、自分の事を書こうと思っても難しい。まずは自分を知ることからと感じました。
- ・自分の事を考える良い機会になりました。

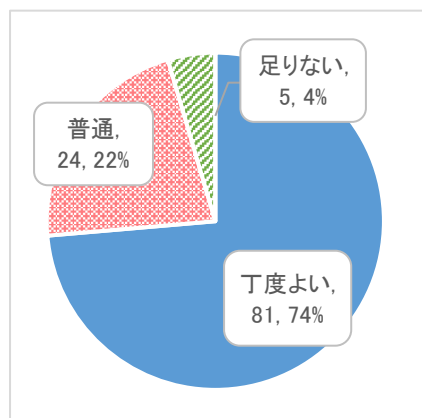
- ・参加して良かった。業務に取り入れるきっかけになった。
- ・講話の中で使われた動画が分かり易くて良かったです。住民向けにはとても良いと思いました。
- ・他職種でのグループワークで色々なことを知ることができました。
- ・家族とか時間とかグループの皆さんの価値観を知り、本人や家族の思いと対話の機会を大切にしたい。
- ・今後の仕事に活かしていきたい。
- ・普段の雑談の中から、その人らしさ、その人の思いを引き出していきたいと思います。
- ・マイライフノートの宣伝があれば助かる。
- ・書き方が分からない等の連絡先について、ケアマネや各医療機関で利用者又は患者に勧める時はケアマネの事業所や各医療機関の連絡先や担当者の連絡先の方が良いと思います。
- ・高齢者が対象と考えがちだが、若い頃から書いてみるのも良いかも。
- ・自分事として取り組んでいきたいです。
- ・ピースメモを書くことで、自分を見つめ直せる。
- ・ピースメモを書く際、テーマを決めていただいたおかげでスムーズに記入することができた。患者さんに提案する際も、こうすれば記入率が上がるのではと思った。
- ・皆さん家族思いだなと感じました。
- ・大事な事、大切な事とは分かっています。しかし…
- ・自分達がピースを意識していくことが大切だと思いました。
- ・テーマを決め話すことで、その人のことを知らなくても、その人がきっとこんな感じなのでは？と思うことができた。認知症の人には難しいことかもしれないが、日常の会話の中でこちら側が気付いていく必要もあるのではと感じた。
- ・日常から ACP について意識し、会話の中に取り入れると良いと思いました。
- ・マイライフノートの普及。・患者支援での活用ができるようになるといいなと思う。・ACP≠リビングウィル。
- ・気付きが多かったです。
- ・祖母との会話のきっかけ作りに聞いてみようと思った。
- ・楽しかった。
- ・本日のように明るく前向きに人生の最終段階を話せたら良いと思います。
- ・休憩時間が長い。早く終わるように短縮しても良いのでは？実際の経験した方の話が聞けました。ACP 分かりづらいです。
- ・自分のことを理解してくれる人が誰なのかよくわからず、マイライフノートが大切だなと思った。という意見が出ました。

6. マイライフノートやピースメモについて、今後業務に活かすためにさらに学びたいこと

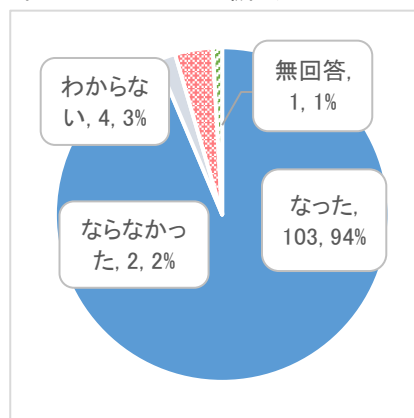


その他:リビングウィルの部分。

7. グループワークの時間はどうだったか



9. グループワークにて他職種がどのような関わりを行っているか知る機会となったか



2025年度出水地区多職種交流研修会

令和7年8月28日 18時30分～20時30分

出水市役所大会議室

大切にしたい事

- ・家族との時間を大切に ・子供に迷惑かけず笑って過ごす
- ・家族が困らないよう環境を整える ・仕事とプライベートどちらも楽しく
- ・子供を見守りやりたいことさせたい
- ・家族の想い ・健康 ・子ども、孫の成長 ・職場のスタッフの想い
- ・笑って楽しく過ごす ・感謝 ・1人の時間 ・家族との時間
- ・笑顔でいること ・自分を大切にしてくれる家族と友人に感謝すること
- ・思いやりの気持ち ・家族が仲良く穏やかに過ごすこと
- ・友人との付き合い ・人との交流
- ・自分の体、無理をしない ・家族に関すること（夫、両親が大切）
- ・資格を取得する ⇒ 時間を大切にしたい
- ・身体、家族、ものを作るのが好き ・身体と時間
- ・家族との時間…「帰ってきて」と呼んでいるけど… 会える距離にいる
- ・身体を大切に ・見るものの視点に研ぎ澄まされたい
- ・一番最初に家族のこと ・娘との時間を大事にしたい
- ・周りの人に迷惑かけられない ・いつもどおりの生活を望んでいる
- ・家族に迷惑かけたくない ・妻の老後
- ・（80歳を想定して）人との交流を大切にしたい

過ごしたい場所

- ・新しい家を作って住みたい ・出水に住んでいたい
- ・家で過ごしたい ・自宅、にぎやかな場所
- ・水、電気、酒、タバコのある生活
- ・実家 ・必要な期間であれば入院も可 ・期間が決められていればどこでも
- ・自分が落ち着くところならどこでも OK
- ・海を見て施設 or 自宅 ・自宅…畑
- ・自宅…施設（自由じゃないと嫌） 猫と入れる施設
- ・海がキレイに見えるところ、山の近く（自然の中）
- ・身のまわりの狭いところが自分にとって過ごしやすい場所だった
- ・（自分が動けなくなったときを想定）皆が自然に過ごせる

やりたい事や行きたい場所

- ・海外旅行、妻と行ったキーウエスト（アメリカ最南端の島）
- ・日本一周（ゆっくりと進んで）、ご当地メシめぐり ・温泉

- 日本一周したい 車中泊
- 旅行に行きたい
- 旅行（知らない人しかいないところ）
- 娘のところ 1 週間くらい
- 人生で 1 回はハワイに行ってみたい
- 息子のところに行きたい、昔の友達とも会いたい
- 福岡の屋台に行きたい
- 国内旅行、北海道に連れて行ってもらいたい
- 日本の名所をめぐるたい
- ドライブ、ツーリング（1 人で）決めずに
- 海、キャンプ
- USJ（父との死別の記憶）…時間経過で行きたいと思えるようになった
- 飼っている犬と旅行
- 海外旅行
- ホテルのバイキングに行きたい
- 昔の就職先、住んでいたところなど行ってみたい
- 自然が多いところ
- 旅行に行きたい
- 買い物（福岡限定）
- 買い物したい！
- ライブ
- 友人との食事会（定期的）
- おいしいもの
- 好きな食べ物（アイスクリーム）をお腹いっぱい食べる
- 酒蔵…お酒が好き
- 浴びるほど飲み会に行きたい
- DIY
- 山登りにチャレンジしたい
- ゴルフ、ピアノ（子ども）
- 読書
- アーティストのライブ
- 運動して気持ちのよい汗をかく
- 手芸
- 2〜3 日家でゆっくり、何もしないこと
- 好きなことを見つけて続ける
- 職場（可能な限り、動く限り）
- 自分の家を自分で建てたい！！
- 名義変更
- 最期の最後まで希望を持って生活したい
- 亡くなるとわかれば友だちみんなに会いたい 身のまわりの人が集約された
- 断捨離しとかなないと…自分ができるうちに
- 身近な人以外への感謝の気持ち伝えたい

自分の気持ちを一番理解してくれていると思う人

- 理解してくれている人、理解してほしい人で対象が変わる
- 姉（言いたいこと言える）
- 家族、職場の上司
- 母親
- 夫
- 同年の友達
- ボーイフレンド
- 答え出せない
- 自分で自分を理解できている
- 子供
- 友人
- 妻
- 娘、友人
- 娘が一番理解してくれる
- 理解者は意外と姉妹だったり…子どもには頼れないかなー
- 一番気持ち理解してくれる人、本当に理解してくれているのか確認が必要と思った
- 気持ちを理解してくれる人は、対象が変わる人がいる、キーパーソンとなり得る

好きなこと、好きな物

- 無になる時間
- 1 人の時間
- ボーっとすること
- 釣り
- ピアノ(趣味)を頑張る
- DIY、ものづくり、ものを大事にする（鉛筆）
- 歩く
- スポーツ
- ランニング
- バレー
- スポーツ観戦
- 推し活（ライブ）
- 旅行（好きな物を食べに行く）
- 映画
- ドライブ思い立った時（仙台市）
- 買い物
- ウイスキー集め
- 酒、タバコ
- 飲み、温泉旅行
- 実家のワンちゃんが大事

- ・動物 ・クロワッサン、メロンパン（セブンイレブン焼きたてゾーン）
- ・スイーツ（ファミマのでっかいプリン）
- ・新しい発見 ・仕事 ・行った先で貝殻あつめ、作品づくり
- ・仕事柄で考えることが変わる 好きなもの亡くなるまで食べたいもの
- ・昨年大好きなアーティストのライブに行けた
⇒「死んでもいい」と思った(笑) もう一回行こうと思う
- ・人生は限りがある いつまでに何をしようとお金を借りてでもしていきたい

その他

- ・ペンが止まるピースも… いつかメモ書けるかな
- ・自分が書けないのに人に説明できないと思った。今回体験できて良かった
- ・言葉ではなく文字にすることの大事さ ・気持ちを書くことの恥ずかしさはある
- ・いざ書こうと思って難しかった ・次いつ書き直せばよいのか分からない
- ・書くタイミングを決めとかなないと変わっていく ・本音がどこまで書けるかな
- ・初めて書いてみたので戸惑った ・今の気持ちを素直に書くことの難しさがある
- ・簡単に書けると思ったが悩んで書けなかった 自分の時間が大切だと思った
- ・これまで考えたことがあっても書くことはなかなかないので難しい
- ・本人の意思はその都度で違うから実際に書くことは難しい
- ・見出しがあって書くことができた 一からだと上手に書けないかもしれない
- ・ピースメモは項目が決まっているほうが書きやすい
- ・病院から書いてくださいって言われても、軽い気持ちで書けるものではないから辛い
- ・自分の思いを意識する機会は大切 ・若くて悩みながら書いた
- ・思いを文章にすることで自覚できる 今の幸せ
- ・残された家族のためにもピースメモを書いておくのが必要（若いときから書く習慣を身につけておく）
- ・自分のことを理解してくれる人が誰なのか…明確に書けず改めてエンディングノートを大切と思った
- ・家族に勧めるが、自分で聞いて書いてあげてもよいと…
- ・家族と話しながらの方がふくらむ
- ・理解者を妻と書いたが外向きだった
- ・夫が倒れた 大事だと思った 書くことが大変で聞いて書いてあげるといい
- ・考えたことを表現する習慣が日本にはない ⇒ マイライフノートを考えるきっかけがない
- ・医療カルテなどに看護師などが聴きとった思い、言葉を入れ込める場所があればいいな…
- ・理想としては1人1冊持っていて、病院や施設にも持って行く
- ・自分で定期的に更新していく
- ・継続して書き続けること、定期的に見つめなおすことが大切
- ・思いは変わるので定期的に見直し！最終決定じゃない安心感が持てる

- ・自分のことをどうだったか？と考えることはあまりない
- ・自分を知ることは難しい
- ・その日その日のことで精いっぱいであることができてないと思った
- ・3年前心肺停止し死にかけた　その頃大事に生きていたいと考えていたのに少し忘れかけていた
- ・夫は自分の母のマイライフノートに取り組んでいた　今の思いを聞くことはいいかなと思った
- ・死を迎える方はほんの数日で気持ちが変わったりなどある　⇒普段の会話が大事
- ・年齢も重ねてきて、目の前に…先のことを考えないといけなくなった…お墓のこと、家族の墓に入れるか？
- ・生活の中で家族の大切さ　　・家族が中心となったピース
- ・家族の判断の材料のために活用できる　　・子どもの心配
- ・ケアマネとして生活歴を聞くが、自分の親のことはあまり聞けていない（生活歴大事）
- ・人生のステージの変化があり、優先順位が変わってくる
- ・死んだあとにしたいことを考えるのもおもしろい
- ・亡くなる前のこと→後のこと（思い出の品を残さなくて良い）
- ・各場面で選択肢が変わる　⇒　見直しの大切さ
- ・どうなりたい　⇒　元気、自然体でいたい
- ・最期を考えたくないという気持ちはある
- ・「生きているのがてそい」という父の言葉　娘として、自分の健康管理とマイライフノート
- ・気が付があった
- 「自分もそれ大切」「自分もそれやりたい」「自分もそれ好きだ」と気付けた
- ピースにないものも、他の人と話をすると思い出せる
- ・当事者しか分からない
- ・行きたかった石川県に地震の関係で行けなくなった
- ⇒いつでも行けるものではないんだと思った
- ⇒行きたいときに行ける職場の関係、在り方も大事！お互いに声かけあいながら…
- ・母「花が枯れるように自然に」と言っていた…日頃から家族に言っていた
- ・自分が書いたことがどのように反映されるか気になる　また、専門職としてどのように叶えていけるか考えたい
- ・利用者さんへ活用するために自分で体験することが大切
- ・時間をかけてじっくり考えたい
- ⇒自分の気持ちがわかってきた、整理がついた（テレビが好き、キムタク好き）
- ⇒認知症の人にも会話のきっかけになるのでは
- ⇒マイライフノートは聞きたくないことも前に軽い質問があることで質問しやすくなる
- ・利用者さんに書いてくださいと簡単な気持ちで言えない
- ・ピースメモを利用者さんとするときに残し方に迷う　ルールはあるか

- ・退院カンファで渡す 勧める人やタイミングが大切
 - ・ピースを書いてもらう声かけ難しい ・患者様、利用者さんとの関わりに
 - ・関わりの中で意向を聞いている方が多い ⇒ 日々の会話が大事
 - ・入院時に聞くと怒られるので元気なうちに書いてほしい
 - ・人それぞれでテーマごとの捉え方が異なるからこそ、時間をかけて書いてもらい、考えてもらうことが大切だと思った
 - ・いきいきサロンでみんなで書く⇒帰ってから家族と話し合いながら書いてほしい
 - ・デイでみんなで書く時間をつくる
 - ・デイサービスのレクで取り入れも◎ ピースメモを脳トレとして（これから何したい？） マイライフノートは終活のイメージ
 - ・ターミナル委員会では遅い、導入時が重要
 - ・自己決定の場面を増やす
 - ・スマホが普及したらアプリで入力できるようにすると失くさないで済む
 - ・各戸配布したら元気なうちに書けたらいい…きっかけで1枚だけでもいい
 - ・若い人への周知大切 孫から 家族で1冊 正月のときなど共有
- ⇒元気なうちからが大切 最期のときに話すと死のイメージ マイナスイメージ大
- ・若い人から記入すべきでは？気持ちの整理になる
- ⇒若い人から親などに伝えてもらうと良いかも！
- ・保管場所はどこにするか？気付いてもらえるのか？ ⇒ 共有しておく必要がある
 - ・子から親へ話しづらい 少しずつ拾って積み上げていくとやりやすいのかも
 - ・特養は入所後に記入できる人は少数
 - ・施設…入所前に確認し、3か月ごとに確認
 - ・特養、入所時に看取りのこと聞くと、落ち着いた状態なのでイメージがわからない、棺桶で着る服まで聞く ・緩和ケアでも同様に棺桶で着る服も聞く
 - ・身寄りのない人の葬式を特養で行った 骨を残さず火葬した
 - ・病院で困るのは、治療方針など本人と家族の意向が異なるとき
 - ・入院してきた人に書いてもらうと死を意識させてしまう…元気なうちに書いていけたらと思う
- ・マイライフノートを書くのは入院時点では難しい
 - ⇒入院時にマイライフノートを持参してくれたらいいな
 - ⇒医師が記載できるフリーページがあれば関係者間の連絡帳代わりになるのでは
 - ・65歳のときに介護保険証と一緒に送れば抵抗少ないのでは
 - ・ピースメモを何かのきっかけ（例：介護保険申請時等）で配布してみてもいい
 - ・認知症の人にも…家族、ケアマネ、支援者の関係者間で意識して共有しながら作成できる
 - ・病院でも外来なら配ることもできるかも
 - ・小・中学校での周知 ⇒ 家族間で話し合うきっかけづくりにしてもいい
 - ・普段から話しておく 子は子の気持ちがある 家族みんなで1人1人ピースメモ書くのもよい

- ・元気な人に意思確認をする入り口が難しい
- ・看取りのあと、家族が後悔する
- ⇒ マイライフノートが残っているとそれをもとに振り返り、よかったと思える
- ⇒ これから生きる糧になる
- ⇒ 家族みんな一緒に話す方が意向の違いが出ない すり合わせ大切
- ⇒ 家族の関係性にもよる
- ⇒ 親も自分のために協力してる姿みてうれしくなる

家族との連携 = チームになる

- ・ターミナル期で福祉用具を導入する際、主に家族の意見を聞いて住環境を整える
- ⇒ 本人の意向を家族と共有できていれば、自宅で望む最期の手助けができるのでは
- ・認知症になる前に活用できることが望ましい
- ・専門職だからこそ、家族には最期のときの確認ができるが、利用者の家族で専門的な知識がない人は、「最期」のときのイメージが沸かないと思われるため、こうしたノートを見本としてコミュニケーションをとることが必要と思った
- ・動画がとてもよかった それぞれの立場で考え、切ない気持ちにもなった
- ・やりたいこと、楽しみがみつかった 人生振り返りできた
- ・年齢関係なく、今のうちからが大切 自分のことなのに知らないことが多い
- ⇒ 自分のことを知るためのノート（知ることができた）
- ・写真はとても大切 デイでも意識して写真を撮り、本人や家族にも喜ばれている
- ・自分がどうしたいを支援する団体が都会にはある
- ・子が生まれ、自分の時間を考えられなくなった
- ・独居の方が多くいる中での活用は必要だと思った
- ・薬局に長年通っている患者さんが多い 人となりなど把握できており、日頃大切にしていることなど聴きとることができている ⇒ 入院や入所のときに伝えられたらいい
- ・《薬剤師》元気なうちに話さないといけない
- ⇒ 薬で病名がわかる 家族の意向から患者さんに嘘を言うこともある
- ・MCS で利用者さん毎にピースの共有の場をつくれたら
- ・その人らしさを支えるため…その人がどう生活したいか知っておきたい

ピースメモを共有したい

元気うちから周知するには…

血圧手帳のように薬局にピースメモやマイライフノートが置いてあればよい？

マイナスイメージを払拭したい！

- ・共通点に気付く ・自分の想いに気付く ・前向きになれる
- ・自分のことを考える機会、言葉にする、文章化
- ・出すこと恥ずかしさもあり、皆で活かすことで、より気付く場面にもなる
- ・本人の想いが分かれると、実際の場面で家族の理解をもらえるのではないかな
- ・父親とじっくり話し合えばよかった（実体験）
- ・それぞれの視点が違う
- ・本人の想いと家族の想い（生きてほしい）が違う